

## No.1930

9月7日例会	プログラム	「玉野市立青少年育成センターの活動内容について」	玉野市立青少年育成センター専任指導員 島田 麻衣子様
9月14日例会	プログラム	「我が国周辺の軍事状勢」	三井造船(株)玉野事業所 顧問 石井 奨様
9月7日のメニュー		・サイコロステーキ・焼売・春巻、花切り大根・ミニ冷麺・沖アミごはん・コーヒー	

## 前回(8月31日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	25名	欠席者数	9名	出席率	73.53%	前回補正率	85.29%
	前回補正者	藤田君								
	欠席者	藤原君 花岡君 井上君 宮原君 三宅(孝)君 仲田君 中山君 大久保君 山田(次)君								

### 会長挨拶

先週は、ガバナー公式訪問例会を皆様のご協力が無事に行なう事が出来ました。ご協力有難う御座いました。例会前の懇談会において、ガバナーからクラブの活動に付き、助言、アドバイスがございましたので、ご報告致します。先ず、出席率が少し低い点を指摘されました。出席率を上げるための工夫、メーキャップを頑張るように言われました。次に、会員増強の問題でした。退会防止の努力、純増1~2名を頑張る様にとの事です。又、女性会員の受け入れを問われました。岡山県内では、殆どが受け入れの意向だそうです。会員の親睦を図るのに、IDM、昔の炉辺会議(ファイヤーサイドミーティング)で打ち解けた話し合いが、退会防止、会員勧誘の情報交換につながるとのアドバイスがありました。又、会員の減少には、CLPの導入を薦められました。

### 会長報告

- ・おかやまビーチサッカー大会 in 渋川 2007、実行委員会より、協賛のお礼とスケジュール表が届いております。大会は、中国地域予選会が9月1日(土)12:30~、全国ビーチサッカー大会中国予選会が9月2日(日)9:00~ともに渋川海岸で行なわれます。

### 幹事報告

- ・米山記念奨学会より設立40周年記念切手シートが届きました。ご希望の方は事務局へお申し出下さい。
- ・9月のロータリーレートのお知らせが届きました。1ドル-116円
- ・森下ガバナー・小西ガバナー補佐より公式訪問のお礼状が届いています。(回覧)
- ・玉野市児童・生徒科学研究発表会、作品展への協賛依頼が届いています。
- ・玉野市青少年育成センターより会報が届いています。(回覧)
- ・森下ガバナー事務所より2008-2009年度アメリカ合衆国・カナダ派遣交換学生募集の案内が届いています。
- ・RI第2690地区第2回青少年交換委員会(第1回受入学生オリエンテーション並びに歓迎会)開催の案内が届いております。地区青少年交換委員の三宅孝治君が出席致します。
- ・ホストクラブとして一昨日8月度の県南18RCの幹事会へ高橋副幹事と共に出席してまいりました。
- ・玉野手話サークルより先日のバザーでの収益金は74,520円とのお礼状が届いています。
- ・白石会員が広島安芸ロータリークラブでメーキャップされ、バナーを交換されて来ました。(回覧)
- ・森下ガバナー公式訪問の基調講演の資料を回覧致します。石川委員長がお持ちですので詳しくご覧になりたい方はお申し出下さい。
- ・他クラブの週報・例会変更は回覧させて頂きます。

### 委員会報告

- ・米山記念奨学会(渡邊委員長):白石会員より米山功労者寄付の申し込みを頂きました。有難うございます。
- ・社会奉仕委員会(三宅保昭委員長):本日、平成19年度岡山県共同募金玉野市支会運営委員会が、日の出ふれあい会館に行なわれ、会長の代理という事で出席して参りました。期間中、昨年同様のご支援をお願い致します。
- ・ハイロー会(谷口幹事):9月16日(日)瀬戸大橋CCにてハイロー会がございませう。多数の参加をお待ち致しております。

- ・ 岸本会員：宇野港、駅東倉庫 Gallery Minato において、ベル・串田特別展を行なっております。9月1日より一ヶ月間行ないますのでご来場をお願い致します。絵葉書や絵画の販売も致しております。

## スマイル・ボックス

- ・ 松尾会長 - ガバナー訪問で皆様にお世話になりました。
- ・ 谷口幹事 - ガバナー訪問ではお世話になりました。 県南 18RC 幹事会では高橋副幹事には大変お世話になりました。
- ・ 渡邊君 - 米山記念奨学会特別寄付、白石さん有難う御座います。
- ・ 藤田君 - 先週 23 日、生まれて初めてガスフェアーにおいて、オープニングテープカットをしました。ロータリーソングの歌詞記載幕の掛け間違い。
- ・ 岸本君 - 駅東倉庫の PR をさせて頂きます。 先週、瀬戸大橋 CC のスポンサー杯で優勝しました。
- ・ 大西君 - 早退。
- ・ 三宅保昭君 - バッチ忘れ。

## プログラム 「ROUMAZ NIKKI」 ISHIKAWA TAKUBOKU 小野田 元男君

「ROUMAZ NIKKI」は少しいやらしい部分がありますが、文学という事で理解して下さい。それでは、先ず初めに百人一首を少し思い出しながら聞いて下さい。

- ・ 秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ わが衣手は 露に濡れつつ
- ・ 春過ぎて 夏来にけらし 白砂の 衣ほすてふ 天の香具山
- ・ あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の ながながし夜を ひとりかも寝む
- ・ 田子の浦に うち出でてみれば 白砂の 富士の高嶺に 雪は降りつつ
- ・ 奥山に 紅葉ふみわけ 鳴く鹿の 声聞く時ぞ 秋は悲しき

ここから、石川啄木に入ります。

一番皆さんご存知と思うところで、

- ・ 東海の 小島の磯の 白砂に われ泣きぬれて 蟹とたわむる
- ・ 友が皆 われよりえらく 見ゆる日よ 花を買ひきて 妻としたしむ
- ・ たわむれに 母を背負いて そのあまり 軽きに泣きて 三步あゆまず

こうゆう歌を聞くと、啄木と言う人は、妻と花を楽しんだり、母を背負ったたりと思うのですが、これが実は全く違い、明治 19 年に生まれ、大人になっても身長は 158cm、体重は 45 kg と非常に小さかったのですが、精力は非常に強かったようです。その事が良く解かる書に、明治 42 年の 4 月 6 日から 6 月の 16 日まで付けた「ROUMAZ NIKKI」があります。ここで何故ローマ字で付けたかという、妻に読まれたくなかったからのようです。啄木は、明治 42 年に釧路から上京しましたが、妻や母は釧路に置いて来たそうです。その時に毎日の様に、浅草へ遊びに行き、この日記を付けた様です。3 月から朝日新聞社の校正係の職に付いていた啄木は、月給で 25 円を貰っておりました。これは当時としては、かなり良い給料であった筈ですが、浅草で使うには足らなかったという事です。《ここで「ROUMAZ NIKKI」の一部朗読がございましたが、表現が激しい為、省略させて頂きます。ご興味のある方は書店もしくはネット販売でご購入下さい。》しかし、幾ら遊んでも満足を得られなくなった啄木は、その後に深く後悔するようになった様です。最後には死を望むようになりました。その様な状況の中でも啄木は、同じ明治 42 年、妻と母を東京に呼び寄せ、その年に男子が生まれましたが、生後 24 日でその子は亡くなりました。その時に読んだ歌が、

- ・ 夜遅く 勤め先より かへり来て 今死にしてふ 児を抱けるかな

そして、その後、何日かで啄木も吐血をしております。家族 3 人とも肺病で亡くなりました。24 歳で死を望み、27 歳で亡くなりました。その時に書かれたのが、「悲しき玩具」です。啄木は妻、母思いであったと世間では思われておりますが、実は違っていたと言う話です。